

紙面課題をしながら、簡単な口頭課題を同時に行います。

氏名：				実施日：				実施場面：			
やり方：「○」に印をつけながら、1、2、3…と課題が終わるまで声に出して数え続けます。どちらかが止まっても、責めずに再開します。											
○	△	□	○	◇	△	○	□	△	○	◇	□
△	○	◇	□	○	△	□	◇	○	△	○	□
□	◇	○	△	□	○	◇	△	○	□	△	○
○	□	△	◇	△	○	□	○	◇	△	□	○
◇	△	□	○	○	◇	△	□	○	△	◇	○

実施者記録

☐ 紙面課題が止まった	☐ 数唱が止まった
☐ 両方とも続いた	☐ どちらか一方を優先した

実施者メモ（誤り方・手がかかり・中断・疲労など）

視覚探索をしながら、実施者の合図に反応する課題です。

氏名：				実施日：				実施場面：			
やり方： 「△」に印をつけ続けます。同時に、実施者が読み上げる語のうち「赤」のときだけ「はい」と答えます。実施者用系列（本人には見せない）：青→赤→黄→緑→青→赤→黄→赤											
△	○	□	◇	△	□	○	△	◇	○	□	△
○	△	◇	□	○	△	□	◇	△	○	△	□
□	○	△	◇	△	○	□	○	◇	△	□	○
△	□	○	◇	○	△	◇	□	△	○	□	△
◇	△	□	○	△	○	□	◇	○	△	◇	□

実施者記録

☐ 合図への反応漏れ	☐ 誤反応
☐ 探索の中断	☐ 再開に促しが必要

実施者メモ（誤り方・手がかり・中断・疲労など）

ルール付き紙面課題と口頭課題を同時に行い、優先配分を観察します。

氏名：				実施日：				実施場面：			
やり方： 奇数には○、偶数には線を引しながら、実施者が読む語のうち「動物の名前」のときだけ「はい」と答えます。実施者用系列（本人には見せない）：犬→机→ねこ→電車→馬→りんご→うさぎ→時計											
1	4	7	2	9	6	3	8	5	2	7	4
6	1	8	3	5	9	2	7	4	6	1	8
3	5	2	9	6	4	7	1	8	3	5	2
9	6	4	1	7	8	2	5	3	9	4	6

実施者記録

☐ 紙面ルールの取り違い	☐ 口頭反応の漏れ
☐ 片方を完全に止めた	☐ 自分でペースを調整した

実施者メモ（誤り方・手がかり・中断・疲労など）

このページは実施者向けです。紙面上の成績ではなく、反応と生活場面とのつながりを記録します。

位置づけ

本教材は rehabilikunblog が作成した非標準化の練習教材です。診断、重症度判定、カットオフ判定には使用しません。L1～L3 は本教材内の課題条件を整理するための区分で、すべての対象者で一律の難易度序列になることを保証しません。

この教材で見たいこと

2つの課題を同時に行ったとき、どちらを優先するか、片方が止まるか、速度を落として調整できるかを観察します。

L1～L3 で変えている条件

確認項目	内容
L1	単純探索＋数唱
L2	探索＋不規則な口頭合図
L3	ルール付き紙面課題＋意味判断

観察する反応

☐ 主課題の中断	☐ 副課題の反応漏れ
☐ 誤反応	☐ 優先配分
☐ 自己ペース調整	☐ 再開に必要な支援

生活行為へつなぐ例

- ・歩きながら会話する場面の前段階
- ・調理中に声をかけられる場面
- ・移動中に案内を聞く場面
- ・複数作業が重なる家事・IADL

実施・記録上の注意

- ・転倒リスクがある二重課題は紙面課題から直接推測せず、実際の動作評価を別に行う
- ・同一対象者内で比較する場合は、読み上げ系列・間隔・回答方法をそろえる
- ・強い混乱・焦燥・疲労が出た場合は単一課題へ戻す。書字が難しい場合は口頭回答・指差し・実施者代筆へ変更可。回答方法を記録し、経時比較では同じ方法をそろえる

最低限の記録

課題名・レベル／実施条件／誤り方／手がかりの種類と回数／中断・疲労／生活場面で確認したいこと

参考文献（本教材そのものの妥当性・有効性を示すものではありません）

日本作業療法士協会. 作業療法ガイドラインー認知症 増補版. 2025.

Kudlicka A, Martyr A, Bahar-Fuchs A, Sabates J, Woods B, Clare L. Cognitive rehabilitation for people with mild to moderate dementia. Cochrane Database Syst Rev. 2023;6(6):CD013388. doi:10.1002/14651858.CD013388.pub2.